

健康・生活



がんになっても いきいきと!



いきいき和歌山がんサポート理事長 谷野裕一

⑧ 子どもたちと交流

o o mを使った勉強会を行い、新聞の取材を受けたそうです。

全国の子どもたちにクイズを通して音楽を楽しむ企画をしたいと、京都のピアノの先生も来ました。コロナでレッスンができないので、Z o o mを使ってネット上でレッスンをしている。ピアノのクイズの勉強会は私がお手伝いしました。ピアノの構造や発明の歴史など、音楽が好きな私にも興味深い内容でした。

この日は第6回のわれわれの企画。残念ながら、子どもは誰も来ませんでした。学校が始まって忙しくなったのかな？ コロナは分かっていたらもういいのかな？ でも、元気に遊べてたらそれで良いなあとスタッフと話していたところに、1人の若い女性が参加。毎年夏に糖尿病の子どもたちのキャンプをやっているが、ことは開催できなくなりました。インターネットを使って子どもたち

の交流ができないか話していたところ、子どもたちの勉強会をしているところがあるから見てきたらと聞いてきたとのこと。実際のキャンプでは一緒に食事を作ったり、いろんなことをしながら交流。同じ病気の子どもたちと知り合い、自分だけが病気ではないことを理解し、お互いが元気でいることを確認し合って、成長することを目的にしているそうです。キャンプができませんしよつと思っただけけれど、ネットでも子どもたちがそんなに興味深く喜ぶのかと、われわれの体験を聞いて納得されたよつでした。

急に思い付いたGWの小さな企画が、三つにも四つにも広がる。糖尿病の子どものネットの交流会が全国に広がれば、同じ病気の子どもたちも元気になれると、うれしくなりました。何でも思い付いたら実行に移す。それを見てまた頑張る人が増える。スタッフと楽しくなった一日でした。次は、HANSHEIN健康メッセという毎年1万人以上が参加する企画のネット版で、子

どもコロナ勉強会を開催してほしいと依頼が来ました。夏休みのこの企画をこれからまた準備していきます。子どもたちが楽しんでくれるところ、うちも良いものを頂きます。また頑張ります。

コロナは屋外ではうつりません。適度な運動をして体調管理をしましょう。帰ったら顔を触る前に手洗いです。良い薬ができてくるまでの1年をいかに過ごすかが大切です。

コロナ肺炎の初めの流行は収まりました。医療崩壊になる前に収束して良かったです。まだ免疫ができていないので、また広がると同じ状態に戻ります。医療は準備期間を頂けたので、この間にしっかり準備をします。

今回はGWの子どものためのコロナZ o o m勉強会の続報です。インターネットを使ったこの勉強会は、大人の参加もOKにしていたので、2名の医師が見学に来ました。地域の子どもたちに向けてやりたいが、どうして良いか分からないので、見学に来たとのこと。その後、静岡の先生は2週間に1回のペースで、Z

の交流ができないか話していたところ、子どもたちの勉強会をしているところがあるから見てきたらと聞いてきたとのこと。実際のキャンプでは一緒に食事を作ったり、いろんなことをしながら交流。同じ病気の子どもたちと知り合い、自分だけが病気ではないことを理解し、お互いが元気でいることを確認し合って、成長することを目的にしているそうです。キャンプができませんしよつと思っただけけれど、ネットでも子どもたちがそんなに興味深く喜ぶのかと、われわれの体験を聞いて納得されたよつでした。